

- ▶ 嘉手納町では、私有林人工林が僅かであるため、県産木材を利用した公共施設の整備費や備品購入費に森林環境譲与税を活用する方針。
- ▶ 令和元年度は、子育て支援センターへの木製児童用ロッカー設置工事を行ったが、令和2年度においては、以下の取組を実施。
 - 町立保育所2か所において、木製玩具を備品として購入した。
 - 子育て支援センターにおいて、木製玩具を備品として購入した。
- ▶ 令和3年度においても、保育所等への木製玩具の備品購入を進めて行くこととしている。

□ 事業内容

1 保育所用備品購入費、子育て支援センター用備品購入費

- 町立の第二保育所、第三保育所及び子育て支援センターにおいて、県産木材の琉球松で製造した玩具を備品として購入した。

【事業費】1,439千円 (うち譲与税1,102千円)

【実績】・第二保育所：積み木、積み木収納カート、ままごとキッチン、冷蔵庫、カーハウス、野菜セット等。(557,700円)

・第三保育所：紐ないコマ、大工セット、ままごとキッチン、冷蔵庫、カーハウス、野菜セット等。(557,590円)

・子育て支援センター：大工セット、積み木、積み木収納カート、カーハウス。(323,950円)



(ままごとキッチンと冷蔵庫)



(大工セット)



(積み木50ピースと積み木収納カート)

□ 事業スキーム



打診



発注

沖縄県森林組合連合会

□ 工夫・留意した点

- 県産木材を利用した事業に森林環境譲与税が活用できる旨の情報や予算編成時に提供したところ、子ども家庭課(保育所、子育て支援センター)から木製玩具購入の要望が出てきた。
- 県産木材は県内の森林組合が一括管理しているため、木製玩具の選定、見積り及び発注等は、森林組合に直接相談するようになった。

◇ 基礎データ

①令和2年度譲与額	1,102千円
②私有林人工林面積(※1)	1.67ha
③林野率(※2)	17.3%
④人口(※3)	13,685人
⑤林業就業者数(※3)	0人

※1：「森林資源現況調査(林野庁、H29.3.31現在)」より、
 ※2：「2015農林業センサス」より、※3：「H27年国勢調査」より